

## 令和2年度 第3回経営審議会議事録

**日時** 令和2年11月13日（金） 10:27～11:17  
**場所** 本部棟2階 小会議室1  
**出席者** 沖議長、柴田委員、末岡委員、晝田委員、中島委員、筒井委員、梶谷委員  
（出席7／7名）  
（監事）大土監事（出席1／2名）  
（事務局）小西次長、長家課長、鈴木課長、中島経理班長、河合主幹、田淵総務班長

### 1 開 会

### 2 議事録の確認

令和2年度第2回（令和2年9月16日開催）の議事録案は承認された。

### 3 議 題

#### [1] 審議事項

##### （1）令和2年度補正予算（第2回）（案）について

- ・事務局から資料1により説明があり、原案どおり承認され、役員会に付議することとされた。

#### 【質疑応答等】

- （問）文科省の補助事業は監査を受けるのか。これまでも受けていたのか。県の補助事業も同様なのか。
- （答）（文科省の監査は）いずれ受けることになる。COC+事業については会計検査院も文科省もまだだが、今後来る可能性はある。県の監査は受けている。
- （問）コロナ禍による経済的ダメージで辞めた学生はいるのか。
- （答）今のところ聞いていない。ただ、授業評価アンケートによるとメンタルで落ち込んでいる学生はいるようだ。
- （問）新型コロナの影響でオープンキャンパスがWebとなったが、学生への影響はあるのか。
- （答）例年のオープンキャンパスとは違い、参加人数が減った学部も、変わらない学部もあった。Webについては私学等他大学に比べると大人しいと感じた。せっかく良いものができたので来年度に向け、流し方を検討したい。経費的削減の面では良かったが。

#### [2] 報告事項

##### （1）「吉備の杜」創造戦略プロジェクトについて

- ・沖学長（議長）から資料2により報告があった。

#### 【質疑応答等】

- （問）非常におもしろいと思う。問題解決の仕組みを教えるに当たっては何かイベントがあった方が良いのではないか。
- （答）プロジェクトの中で企業と一緒に課題を設定して問題解決をしていくこととしている。
- （意見）方法論等を勉強しつつ、実際の問題解決をすることで座学と実務がよりつながっていくものと思う。
- （答）企業の考え方は、学生が考えた事がないものかもしれない。今は、到達点は分からない。アウトプットについては各々のサテライトプログラムで違って良いと考えている。なお、評価する体制は必要と思う。初めての試みであることから企業秘密等、問題となる部分があるかもしれないので慎重に行っていきたい。
- （意見）知財、得られた成果についても詰めないといけない。

- (意見) インターンシップやエンジニアリング演習のような就業体験とは異なる点、企業と一緒に課題を作り考えていく点を(企業に)説明していく必要があると考えている。
- (意見) テーマが「大学による地方創生人材教育プログラム構築事業」であるので、教育プログラムの立ち上がりはこうかもしれないが、5年間の内にどう変えていくかというテーマもあるのではないか。構築そのものをどうするかというプロジェクトがあると面白い。企業内で地方創生人材をどう教育していくかを、大学と企業とが一緒にプログラムを構築することで、企業側の人材育成にも役立つと思う。  
その視点でのプログラムを入れれば国の補助金がなくなった後も自走可能になると思う。
- (意見) 食品業界サテライトプログラムに関し、(岡山県中小企業団体)中央会で、フードバレーセンターというプロジェクトがある。大学からアドバイスをしたり、企業の苦勞している点を聞いたりしてはどうか。
- (答) 何とか盛り上げていきたいと考えている。栄養学科は、できた食べ物だけに焦点を当ててきたが、できた農産物が流通、加工されて我々のところに来る。そういった視点からの研究が必要と考えている。
- (意見) これからのハードルは高いが、委員の助言をいただきながらなんとか構築していきたいのでサポートをお願いしたい。

### **[3] その他**

- ・ 来年3月末で委員の2年任期が満了する。後日、事務局から説明に伺う。監事の任期は令和4年度の財務諸表の承認の日までなので引き続きお願いする。